



みとよし
三豊市

2019年
臨時号
No.33

議会だより



議会報告会特集

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>
📷 高瀬緑ヶ丘グラウンドゴルフクラブの皆さん

お寄せいただいた質問と回答を ご報告します



概要

【期間】令和元年5月11日～6月1日
(22日間)

【場所】市内26カ所

【参加人数】462人

たくさんの方の声を
ありがとうございます

議会報告会では、皆さまの貴重なご意見、ご要望をいただき、ありがとうございました。

前月号2019年8月号(No.32)では、今年度議会報告会の概要(速報)について、お知らせしました。

今回は、「議会報告会特集」とし、実際に会場でお寄せいただいた質問とその回答のほか、当日に回答できなかった質問についての調査結果を報告します。

ここでは、紙面の都合上、一部抜粋したのみ、ご紹介しております。なお、市議会ホームページで、すべての質問と回答について、全文を掲載しておりますので、ご覧ください。

▶QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます



または、インターネットで
三豊市議会 を検索

皆さまの声がまちづくりにも！
『私たちの意見は、
どう反映されるの？』

議会報告会

参加していただいた市民の皆さまから、貴重な意見をいただきます。

各担当常任委員会で意見・回答を整理
各所管委員会で調査研究します。

議会だより・議会ホームページで報告
整理した意見、回答を市民の皆さまに報告します。

広聴会議で「市政に対する要請書」を
作成

市の課題や緊急を要する案件等、いくつかの案件をピックアップします。

議長から市長へ、「市政に対する要請書」提出

ピックアップした案件を要請書に盛り込み、市長へ政策提言します。

市長から議長へ、「市政に対する要請書」への回答

提出した案件について、市として、今後、どのように取り組んでいくかが回答されます。

いただいたご意見をよりよい三豊市づくりにつなげよう、これからも、議員一同、取り組んでまいります。

議会報告会を終えて

市内26カ所で開催する議会報告会は、今回で4回目となりました。減少傾向であった参加者数は、多少の増加をみましたが、市民の皆さんの幅広いご意見をお聞きできたものではないと再認識しています。

今回の開催にあたり、これまでと同様の方法でよいのかの検討をしました。その中で「本年度は従来通りとするも、次回の議会報告会に向けて原点に戻り、より良いものとするために、検討し議論することとしています。」

市民の皆さんの誰もが参加したくなる議会報告会を実現していかなくてはなりません。各会場でいただいたご意見やご要望は、調査・研究し、市政に対する要請書として政策提言していきます。

三豊市議会議長 詫間政司

報告は、所管の担当委員会ごとに順次、掲載します。

総務常任委員会

交通について

問 運転免許を返納すればどこにも行けなくなる。もっと市民の足を確保する施策に取り組めないか。

答 高齢者が関係する交通事故が増加しており、運転に不安のある高齢者が自主的に運転免許証を返納することを支援する施策に取り組んでいる。

市民の足を確保する施策については、福祉タクシーチケットをコミュニティバスの乗車券に交換できる施策を開始したところであり、コミュニティバスの運行経路やバス停についても、状況に応じて検討することとしている。

自治会について

問 移住者などが自治会や防災組織に加入しない例が増えている。行政から加入を働きかけられないか。

答 自治会等への加入や脱退は個人の判断や意思に基づくものであるが、自治会加入についてさまざまな機会を通じて説明していく。

コミュニティバスについて

問 コミュニティバスの運行において、JR等につまみく接続していかかったり、乗り換えに長時間を要したりする場面がある。運行コースの変更や停留所の移動・新設ができないか。

答 運行経路や運行時刻の決定においては、公共施設、病院などの主要施設への連絡を考慮するとともに、



▲市民の移動手段を担うコミュニティバス

まちづくりについて

高等学校の始業や終業時間も踏まえながら検討しており、必ずしもJRの列車時刻には接続できない場合がある。運行コースや停留所の移動・新設については、運行実績を踏まえながら検討することとしている。

問 総合計画に、「一極集中を目指すのではなく」とあるが、具体的にはどういうまちづくりに取り組むのか。

答 三豊市を構成する合併前の7つの旧町地域には、それぞれ特性や個性があり、歴史や地域文化が育まれてきた。三豊市のまちづくりにおいては、効率性を重視した一極集中ではなく、このような特性や個性を生かした三豊市型まちづくりに取り組むことにより、将来に向けて持続・発展できるまちを目指す。

AIについて

問 A-1のサテライトが財田庁舎に設置されたが、その経緯と設置目的は何か。

答 財田庁舎周辺には、福祉、医療、幼児教育などの機能が集積されており、

り、さらに農業が盛んであることから、実証実験には最適な条件が揃っている。サテライトでは、A-1人材の育成とともに、企業課題、地域課題の解決に向けた共同研究を行い、ベンチャー企業の育成や産業の集積を求めていく。



▲人工知能講座（初級編）の様子

多文化共生について

問 農業や企業において研修などの目的で多くの外国人研修生を受け入れているが、現在どのくらいの人数

※ AI…人工知能

※ベンチャー企業…革新的なアイデアや技術をもとにして、新しいサービスやビジネスを展開する企業

になっているのか。また、多文化共生に向けてどのような取り組みを行うのか。

答 本年4月1日時点での外国人技能実習生は66人である。三豊市としては、さまざまな文化を尊重しつつ、企業の活動を支援し、多文化共生のまちづくりに取り組んでいく。

産業振興について

問 讃岐造船の跡地、何か方向性は出たのか。

答 当初は水族館の誘致を進めていたが、民間企業の進出はなかった。その後も「にぎわい創出」というテーマで取り組んでいるが、現時点で民間企業の進出は具体化されていない。

今後は、「にぎわい創出も含む」という形で柔軟な対応も検討する時期に直面していると思われる。できるだけ早い時期に開発の方向が具体化し、投資が効果にあらわれるよう取り組まなければならない。

観光振興について

問 観光振興は三豊市の政策の大きな柱の一つではないか。現在、父母ヶ

浜に多くの人々が訪れている。この機会に、この傾向が今後とも継続・発展し、地元経済も含めて産業振興を図ることが必要ではないか。

答 7月からバスの駐車料金を有料化した。海水浴場内の店舗では、地元食材を利用した飲食の販売を開始するなど、順次産業振興の面からの取り組みも行っており、今後とも、積極的な民間投資を促すとともに、効果的な情報発信を行いたい。



▲シャワーやトイレ、売店などの機能を備えた一体型施設「父母ヶ浜ポート」

市民建設常任委員会

ため池について

問 ため池の整備、防災対策はどうなっているか。

答 市内に1,051カ所の防災重点ため池がある。改修整備が必要なため池については、国・県に要望していく。

受益者においても日常管理や定期的な見回り、数年に一度は落水して堤防の点検等を行っていただきたい。

河川について

問 高瀬川の河川改修工事を行っているが、どのようになって、いつ頃完成するのか。

答 高速高架から上流に右岸約1,290m、左岸840m河川改修中である。現在最終区間であり、完了は令和3年度の予定である。

火葬場について

問 火葬場の休みについて、北部、南部が同じ日に休んでいる。使えない日が出てくる。なんとかならないか。

答 平成28年9月から火葬場の休場日を設けて運用を開始しており、丸3年が経過しようとしている。また

北部火葬場が供用開始され1年となる。関係者の意見聴取を行い、利用者の利便性を最優先に検討し、早急に常任委員会としての結論を出したい。



▲三豊市の北部火葬場(左)と南部火葬場(右)

薬用作物について

問 農業振興として生薬栽培に取り組むとのことだが、生産者の立場から見て魅力のあるものなのか。生産活動に反映できるものなのか。

答 現在、二豊市に適した作物の選定と、薬用作物の栽培が農家の所得向上や遊休農地の解消につながるのか、実証実験中である。

生活排水処理について

問 合併浄化槽の料金について、水道の使用料に合わせて浄化槽の料金を改定するかもしれないというアンケートがあった。その進捗状況がどうなっているか聞きたい。

答 今現在、集落排水施設、900世帯の使用量は人頭制で、市設置浄化槽2,000基は人槽制を適用している。検討の結果、人頭制による料金体制を適用し、基本料金2,000円、1人当たり60円とする。2人世帯の場合、3,200円、4人世帯の場合、4,400円（金額はそれぞれ税抜き）に料金を統一する。また夏ごろ説明会を開催。2019年12月の議会において条例改正、来年（2020年）4月より新料金の運用を開始する予定で準備を進めている。

耕作放棄地対策について

問 耕作放棄地は、相当深刻な問題だ。法律改正し、登記をしてない土地をどう処理するか、誰かに無償で貸すか、そんなことができればだいぶ違ってくると思う。さまざまな関係により、簡単には進まないかもしれないが、知恵を絞ってほしい。

答 耕作放棄地の発生防止のためには、農業生産基盤の整備も有効と考える。（公財）香川県農地機構においては、未相続地であっても、相続人の過半の同意を得て貸借を進めている。このような取り組みを通じて、地域の農地を守り、将来に継承することで安心・安全な農作物の安定供給と農業の活性化を目指す。

水路について

問 近年の集中豪雨により、水路が溢れることが多く見られるようになってきている。長期展望に立って水路を広げるとか、排水機能の強化等できないか。

答 本山区については、今年度排水計画を考えており、排水機能の強化に取り組んでいる。
河川整備に合わせて、地元関係団体と協議していく。住民の皆さまか

ら、どこに水がたまるのか、どこに問題がある等のご指摘・ご意見をいただきたい。

農業振興について

問 人口が減少し、高齢化が進んでくるとこれからの農業に不安しかない。人口減少対策はどうなっているのか。

答 農業従事者の減少や高齢化等により、農地の遊休・荒廃化が進んでいる。農業生産に取り組む移住者や、若い生産者が三豊市で生活できる農業に取り組む必要がある。空き家バンク制度の利用も含め、移住者が就農する場合の支援も実施している。

都市計画について

問 都市計画事業の区域再編で今後計画書を作成するということだが、作成のめどを知りたい。

答 今年度から都市計画区域の見直しを行い、合わせて現状の分析、課題抽出、関係機関との協議調整しながら、2年かけて、現在の都市計画マスタープランの改定を行う予定である。

空き家対策について

問 つぶれかけて危ない施設は市が壊してくれるのか。

答 空き家等の取り壊しは管理責任がある所有者が行うのが原則である。所有者が不明の場合は市が調査し所有者等に適正な管理について助言・指導をする。

所有者等が空き家等を除却しようとするとき、費用の一部を補助する事業が使える場合があるので、除却する前に市に相談してほしい。

浮棧橋について

問 栗島の棧橋はいつ完成するのか。
答 令和2年9月末の予定となっている。



▲栗島港に設置予定の浮棧橋

教育民生常任委員会

緑ヶ丘サッカー場の改修について

問 緑ヶ丘サッカー場はどのような経緯で整備することになったのか。

答 緑ヶ丘サッカー場は整備後20数年が経過し、天然芝の張り替え時期となっている。一方スポーツ少年団や中学生のサッカー部が少なくサッカーを学びたい子どもたちにとってその機会が失われている状況である。

またカマタマーレ讃岐が練習場の確保に苦慮しているということから、子どもたちに夢を与えるために、サッカーの指導をお願いして練習場として利用してもらうことになった。



▲緑ヶ丘サッカー場の委員会現地視察の様子

学校ICT整備事業について

問 学校のICT授業と家庭学習の環境バランスや他市との歩調はあっているのか。また先生方へのサポートやウィルス対策は大丈夫なのか。

答 ICTによる学習は学校内が基本であり、学校外の計画はない。6月に学校教育の情報化に関する法律が施行され、その目的等に留意しつつ取り組んでいく。他市町と連携はなく単独事業である。校務支援システムはL G W A N（インターネットと切り離れた閉域ネットワーク）、学習支援システムは単独通信回線であり、高度なセキュリティを維持している。教師へのサポートは、各学校で研修を実施し、習熟度向上に努めている。

小学校統合について

問 児童数の減少により山本・財田小学校は統合を終えたが、他町は今後どうなるのか。

答 小学校統合の基準は、生徒数120人以下が3年以上続く場合となっている。数年後に著しく減少する地域もあり、現状を地域・保護者等に周知・協議を重ね、意見集約したい。議会でも皆さまの意見を聞き、議論を尽くしていきたい。

宝山湖のトイレ不足等について

問 宝山湖サッカー場のトイレや駐車場が不足し、ゴミも片付けられていない。対策について伺う。

答 トイレは既存のものと同簡易トイレで対応しており、大きい大会は主催者が簡易トイレを準備することになっている。駐車場は、広場東側の利用率が悪いので、利用を促すよう周知したい。ゴミは主催者が責任をもって利用者に注意を促すよう指示している。今一度徹底したい。



▲宝山湖サッカー場の設置トイレ

高齢者福祉タクシー事業について

問 福祉タクシーの免許証自主返納対象者は何人か。いつでも免許証返納ができるよう、利用しやすいバス運行等を考えてほしい。

答 6月末時点のタクシー券対象者は7,369人。登録者5,459人（うち4〜6月免許証返納者80

人、交付者4,798人となっており、返納者は増加している。

共生のまちづくりについて

問 障がい者の目線に立ち、まち全体のバリアフリー化を図るなど、障がい者・健康者が共に明るく生活しやすい三豊市にしてほしい。

答 健康者と障がい者が共に生き生きと生活できる共生のまちづくりを進めていきたい。障害者差別解消法の施行で障がい者への合理的配慮の提供が義務づけられ、不当な差別が禁止されている。市では広報紙、ホームページ等を通じて合理的配慮・心のバリアフリー化等に向けた啓発等に取り組んでいきたい。

通学路の安全対策について

問 通学路の空き家ブロック塀が壊れそうだが、対応できていない。車の暴走事故も多発している。通学路の安全対策について伺う。

答 ブロック塀は、所有者管理であり公道に支障がある場合は、危険ブロック塀対策補助金制度（建築住宅課所管）も利用できる。工事完了までは、迂回する等安全確保をお願いしたい。幼稚園・保育所は散歩コース等の再点検を実施している。道路横断のための待っ位置の安全確保についても呼び掛けている。

※ ICT…情報通信技術

議会運営委員会

予算の執行管理について

問 毎年度の予算が確実に執行されて、どのような効果があったのかと、いつ検証はどのようにしているのか。

答 毎年度の決算を9月定例会において審査している。審査の方法は、決算特別委員会を置き、前年度に執行された事務事業を審査するとともに、主要事業の事務事業評価を行い、予算が市政の発展のために有効に執行されたのかを審査している。

政務活動費について

問 議員の政務活動費はいくら支給され、どのように使っているのか。

答 毎月3万円、年額36万円を限度に支給されている。市政の成熟発展とともに市議会議員としての資質も高いものが必要となっており、調査・研究、情報収集・分析など年間を通じて活動することが求められている。活動内容は、議員個々に活動報告を作成、また領収書等もすべて添付しホームページでも公開している。また、全額を執行しなかった場合には不用額を返還している。

議会報告会の運営について

問 議会報告会に出席して意見を出しても、その意見がどうなったかの報告がない。これが議会報告会への

出席者が少ない原因ではないのか。ぜひとも何らかの形で報告してもらいたい。

答 議会報告会は、議会活動を報告することが第一の目的であるが、同時に、市民の皆さまからさまざまなご意見をいただく場でもある。市民の皆さま方からいただいた意見等については、議会だよりや議会ホームページで回答とともに、掲載している。執行部とも協議し、各施策立案に生かしている。

市立病院建設調査特別委員会

地盤改良について

問 新病院建設予定地は海拔何メートルで、建設費が40億円ということだが、地盤改良費は含まれているのか。

答 基盤地図データでは海拔3.2mと表示されている。40億円の中に費用は含まれている。

問 土地が低いのではと心配するが、高潮の対策は。

答 地震、高潮対策など地盤改良について現在、設計会社と話し合い、今後建築会社とも進めていく。

機能・設備・経営について

問 すべて個室ということだが、個室料は必要となるのか。

答 新病院の特徴として入院患者のため、入院環境の向上、感染症対策、

男女別の患者の受け入れのしやすさ等を考慮し、全室個室を基本とし個室料はいただかない。

問 ICUやCCUなどの設備を備えるのか。

答 重症室は備えているが、ICU、CCUについては設置しない予定である。永康病院は地域医療構想の中で第2次救急対応であり、対応できない重症患者は第3次救急の他の総合病院での受け入れとなる。

問 名前については新永康病院となるのか、診療科等病院の詳細はいつ発表となるのか。

答 今後、市民に親しまれる病院となるよう名称変更も考えている。新病院について市民の皆さんの意見を聞くワークショップも開催予定である。また病院の詳細説明等の地域座談会も各町単位で行っていく。

問 建物が新築となっても、

中身が変わらなければ何にもならない。病院経営が成



▲完成予定図（プロポーザル時点のイメージ）

り立っていくための取り組みは。

答 現在小児科の設置や、病院の収入増となる加算の見直し等の経営改善、職員の研修等でスキルアップ、地域に密着した病院にしよう意識改革にも取り組みを進めている。

問 病院やドクターの紹介などケーブルテレビで放映しないのか。

答 今年度から、季刊誌として広報紙「マーガレット」を発行して病院紹介、ドクター紹介を行っている。

議会広報委員会

議会だよりについて

問 昨年の議会だより11月号編集後記で何人の人が読まれているのか疑問を持たれていたが、調査はしたのか。私の知り合いは8割の人が読んでいた。議会だよりは分かりやすい。

答 出来るだけ分かりやすくして、読んでいただけるよう努力していく。

問 議会だよりを読んでいて聞き取れないカタカナ文字や理解できない言葉が多くなってきた。小学生から80歳を超えたお年寄りでも分かる文章作りをしてほしい。

答 聞き取れないカタカナ文字や理解できない言葉が出てきた場合には、なるべく注釈を入れていくところではあるが、より分かりやすく説明させていく。

※ ICU…集中治療室

※ CCU…心臓血管系の重症患者を対象とする集中治療室

議会報告会についてのご要望をお聞かせください

(アンケートより抜粋)

子育て世代は19時からの報告会に出向くことがなかなかできません。日時の設定や1回だけでも休日の午前、託児付きにする等したら若い人もくると思います。(30代)

市民の意見・要望が偏り、本来の意見が届かないという人も多々ある。若年層がどのような考えを持っているか聞き取る手段を。(50代)

職員ではない若年層の方の参加もあれば良いと思う。広報やHP、議会だより以外が発信、周知も必要と感じる。(20代)

せっかくいい機会ではあるが、参加者が少ないのは残念。もう少しPRが必要か。(50代)

市民の関心が議会だけでなく、行政全般に非常に低いと感じます。今後は特に若い年齢層に対する工夫、アプローチが必要だと考えます。(50代)

分かっていない人に報告していると思う優しさがない。ノルマを時間内に言えばいいという報告会なら止めたらい。(70代)

問題点を解決するだけでなく、今後、三豊市がどの方向に向かっていくのか。希望を持てる施策をお願いしたい。(70代)

議会だよりの内容が素晴らしい。手に取るように分かりやすいです。要点をしっかりとらえている。市の人々を見据えた、立場を理解している内容がgood!(60代)



編集後記
今年も、議会報告会を開催し、市民の皆さまの声を、集約させていただきました。今後の行政にしっかりと生かしていけるよう、一丸となつて頑張つてまいります。本当に、貴重なご意見をありがとうございました。また8月には、議会広報委員会、先進的な市で研修をしてきました。議会のPR動画、フェイスブック等の研修を含め、いかに手



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

に取っていただくか、見やすい、読みやすい、親しみのある広報紙を目指し、研究を重ねてまいります。ご愛読よろしくお願いたします。(石井)

今月の表紙



高瀬緑ヶ丘グラウンドゴルフクラブの皆さん

平成16年の設立で、今年15周年を迎えています。現在76人の会員を擁し、火曜・金曜の週2回、親睦を深めながら熱心に練習に取り組んでいます。(高木)

議会広報委員会
委員長 市川 洋介
副委員長 石井 勢三
委員 岩田 秀樹
込山 文吉
湯口 新吉
高木 修
近藤 武



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集
三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp